

キリスト教主義教育プロジェクト：

今日の日本社会におけるキリスト教大学の存在意義と使命

<プロジェクトメンバー>

東 よしみ（代表、主任研究員、神学部准教授）

打樋 啓史（センター長、社会学部教授）

加納 和寛（センター副長、神学部准教授）

橋本 祐樹（主任研究員、神学部助教）

大宮 有博（主任研究員、法学部教授）

梶原 直美（主任研究員、教育学部教授）

本プロジェクトはRCCの全構成員からなり、キリスト教主義大学の存在意義と使命、その課題を考え、新しい取り組みのあり方を模索した。

2020年度に予定していた講演会は、COVID-19の感染拡大のため、来年度に延期せざるをえなかった。

本学の建学の精神に関わる発信の収集、公表を継続して行うことを目指し、2020年12月に『「建学の精神」考』第5集を出版した。2015年4月から2020年3月までの本学院の刊行物であるチャペル週報、母校通信、学校案内（大学、高等部、中学部、初等部）、KG Today、KG Journalの中から、重要と思われる記事をプロジェクトメンバー全員が関わって選定し、編集、校正作業を行った。これまでは教職員の文章のみを収録してきたが、第5集は卒業生の文章も含めたことが特色として挙げられる。今後も、建学の精神を生きたものとして構成員に伝えるための方策を考えていきたい。

（東 よしみ・プロジェクト代表）